



第2回比較歯科学研究会総会報告

未来の動物たちのために私たちができること
 歯科医学と獣医歯科学双方を基礎から学び
 よりよい動物医療を追求する

【総会概要】開催日時：2022年4月17日（日） 場所：大阪府新大阪丸ビル新館

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが起きた2020年は、比較歯科学研究会の設立年でした。これまですべての事業がオンラインでのwebセミナーとして行われてきましたが、今回の総会では感染症予防対策下にてリアル開催を行い、日本全国各地から歯科に力をいれている獣医療関係者が集いました。内容は①小牧先生による特別講演②会員による症例検討会③昨年度の決算報告と本年度の予算案承認を行いました。

【特別講演『歯周治療の基礎と実践 ～“人”の歯科医師の立場から～』】

講師：歯科医師 小牧 令二先生（美江寺歯科医院院長）



歯科医師としてご活躍され、ご自身も大の愛犬家である小牧先生に、歯周病の病因論として現在考えられている“キーストーン病原体仮説”に至るまでの歴史や、プラークコントロールの重要性、歯肉縁上・縁下のSRP、マグネット式とピエゾ式の超音波スケーラーの特性の違い、患者さまへのモチベーション維持や口腔内衛生指導法といった内容をご講演頂きました。普段の獣医歯科でのセミナーではなかなか聞くことができない、人の歯科診療の現場で小牧先生が培われたご経験をもとにした、知識・技術・考え方は、参加された多くの先生方にとってとても貴重な学びの機会となりました。

【小牧先生からのコメント】



私の“人”に対する歯周治療の話に対して多くの質問をいただき、多義にわたる獣医学の分野の中でも歯科に対しても深い見識をお持ちだと伺い知ることができました。研究発表では“人”と共通の部分もあれば“犬猫”の特徴的な内容もあり、大変勉強になりました。

最後に提案として、研究会としての歯周治療に関するコンセンサスレポートをまとめられることをお勧めします。今後とも会のご発展を祈念しております。



【症例発表】

- 会長賞『犬の上顎第4前臼歯を守る予防的CR充填』
安 亮磨先生（神奈川県 葉山どうぶつ病院）
- ペピィベット賞：『咬合力を用いた歯列矯正を実施した犬の1例』
田中 雄三先生（大阪府 みゅう動物病院）
- ペットライフメディカル賞『抜歯後の創部治癒遅延が見られた悪性黒色腫の一例』
佐知 本気先生（福岡県 ASAP 動物病院）
- 奨励賞『口鼻腔瘻による鼻腔内出血で重度の出血性貧血が疑われた犬の1例』
猪狩 和明先生（福岡県 ペットクリニックハレルヤ）

発表者紹介

- 『甲状腺機能亢進症の治療中に吸収病巣が原因で食欲が廃絶した猫の1例』
前中 康志先生（兵庫県 トム動物病院）
- 『獣医歯科領域における3D技術の活用』、『犬の埋伏抜歯を行った3例』
樋口 翔太先生（D.V.D.S）
- 『右下顎犬歯の舌側転移にたいしてインクラインプレーンを適応した症例』
樽野 謙太先生（岡山県 たるのどうぶつ診療所）
- 『犬12例におけるM-MINSTの有効性の検討』
奥村 聡基先生（愛知県 パーク動物病院）
- 『猫の全臼歯抜歯』
清戸慶太先生（京都府 林屋動物診療室）
- 『歯を抜くべきか残すべきか』
村橋 宏規（大阪府 たろう動物病院）



比較歯科学研究会総会
症例検討会

『犬の上顎第四前臼歯を守る予防的CR充填』



獣医師 安 亮磨
葉山どうぶつ病院
いなむ動物クリニック
CDSペットクリニック沼田

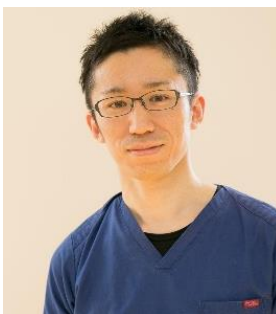


【樋口 翔太会長からのコメント】



当会が発足したのはまさにコロナ感染症の流行が始まった2年前であり、今回が初めての会場開催となりました。再流行の心配もある中での開催ではありましたが、北は北海道、南は鹿児島からご参加いただき大変有意義な1日となった事と思います。オンラインセミナーでは1時間も集中が持たない私も、丸一日集中して勉強する事ができたのは、小牧先生の講演もさる事ながら、協賛企業様そして参加者全員の熱気により成し得られた結果だと思えました。当会は今後も皆様と共に、ヒトの歯科医学、獣医学双方の観点から学びを止める事なく獣医歯科学の発展に寄与して行きたいと考えています。

【奥村聡基副会長からのコメント】



ありふれたケースを深掘りし、より深いレベルで理解することで、日々の臨床レベルを高めようというコンセプトの元、コロナ禍にも関わらず、発表して下さった先生方、ご参加いただいた先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

歯科医師である小牧先生・國谷先生にご参加いただいたことで、普段得ることのできないフィードバックを受けることができ、大変実りある1日となりました。

【総会にご参加いただいた歯科医師 國谷隆志先生からのコメント】



2022年4月17日、比較歯科学研究会総会が行われた。特別記念公演として歯科医師で歯周病学分野で名高い小牧令二先生が特別講演をされた。会員発表もレベルの高いものが揃い、盛況のうちに幕を閉じた。

会場では現役の歯科医師、獣医師、関係者を含めて40人が参加しており、丁寧なディスカッションが行われた。今後の日本の獣医歯科学において、このような熱意のある先生方が揃った研究会がある事に胸が昂った。

私は歯科医師ではあるが、同じレベルに立ち続けられるよう切磋琢磨したい。

【2022年度比較歯科学研究会協賛企業】

OSADA MS GROUP

CROSS TECH kirikan

株式会社キリカン洋行

PEPPY vet MORITA

株式会社モリタ製作所

PET LIFE MEDICAL



【比較歯科学研究会 HP】

比較歯科学研究会は、今年度は『獣医歯科レントゲン』をテーマにしたセミナーやエキゾチックアニマル歯科セミナー、獣医歯科実習の開催を予定しております！今年度も多くの先生方と一緒に学びを重ねることができることを楽しみにしております！